

-(으)ㄹ락 말락 하다

~しそうでしないでいる

境界線上の状態を表します。日本語の「しそうでしない」に当たり、繰り返しの揺れを含みます。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄹ락 말락	당다 → 당을락 말락
パッチムあり	-을락 말락	들리다 → 들릴락 말락
ㄹ 語幹	-ㄹ락 말락	살다 → 살락 말락
よく使う語	보이다・들리다・당다	知覚の動詞
말락	말다 から	しないほう
分かち書き	락 말락 は離す	당을락 말락

■ 使い方と注意

境界線上の状態を表します。손이 천장에 닿을락 말락 해요 (手が天井に届きそうで届きません)。

知覚の動詞とよく組みます。보이다 (見える)、들리다 (聞こえる)、당다 (届く)。かすかに感じられるかどうか、という状況です。

-(으)ㄹ 뻔하다 との違いは、뻔하다 が一回きりの危機なのに対し、락 말락 は継続する揺れを表す点です。

文語寄りですが、描写的な文章でよく見かけます。

■ 例文

- 1

두 사람의 손끝이 닿을락 말락 했다.
二人の指先が触れるか触れないかでした。
- 2

들릴락 말락 한 목소리로 무언가 중얼거렸다.
聞こえるか聞こえないかの声で、何かつぶやきました。
- 3

해가 산 너머로 넘어갈락 말락 하고 있었다.
日が山の向こうに沈むか沈まないかというところでした。
- 4

눈물이 떨어질락 말락 눈가에 맺혔다.
涙が落ちるか落ちないかで、目元に浮かびました。
- 5

모양이 겨우 만들어질락 말락 한 상태였다.
形がやっとできるかできないかという状態でした。
- 6

잠이 들락 말락 할 때 전화가 울렸다.
眠りに落ちるか落ちないかのときに、電話が鳴りました。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄹ 뻔하다
一回きりの危機です。락 말락 は継続する揺れを表します。
넘어질 뻔했어요. (一回) / 넘어질락 말락 (揺れ)

-(으)ㄹ 듯 말 듯
ほぼ同じ意味で、より一般的です。
보일 듯 말 듯 / 보일락 말락

거의
「ほとんど」という副詞です。락 말락 は境界の揺れを描写します。
거의 닿았어요. (ほぼ) / 닿을락 말락 (揺れ)

■ まちがえやすい点

- ✕ 당을락말락

○ 당을락 말락

分かち書きします。
- ✕ 당을락 말락 했다 — 誤りではありません

○ (正しい形です)

過去形でも使えます。
- ✕ 좋을락 말락

○ 形容詞には使いにくい

動作の揺れを表す形です。